※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学Ⅰ演習	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書							
副教材等	ラウンドノート数学Ⅰ新訂版（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する → 結果を予想する → 解決の方向を構想する → 解決する → 解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・1 年次に学習した数学Ⅰの復習をすると同時に、1 年次では学習しきれなった応用問題にも取り組みます。課題解決に向けて自ら積極的に取り組みましょう。
・家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけではなく、授業のポイントや自身で気付いたことなどをノートにメモしていきましょう。

2　学習の到達目標

a: 数と式、２次関数、図形と計量、集合と論証及びデータの分析について理解させ，基礎的・基本的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識できる技能を身につけるようにする。
b: 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり解決の過程や結果を批判的に考察し判断する力を養う。
c: 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析を通して数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする姿勢を身につけるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	数と式、２次関数、図形と計量、集合と論証及びデータの分析について理解させ，基礎的・基本的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり解決の過程や結果を批判的に考察し判断することができる。	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析を通して数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第１章　数と式	第１節　数と式 １　単項式と多項式 ２　多項式の加法・減法・ 　乗法 ３　因数分解	a: 乗法公式、因数分解の公式の意味や複雑な式が簡単に帰着できることを理解するとともに、式を目的に応じて変形することができる。 b: 学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に考察することができる。	定期考査 小テスト	小テスト 定期考査	提出ノート 振り返りシート
		第2節　実数 １　実数 ２　根号を含む式の計算	ａ：数を実数まで拡張することの意義や実数が数直線上の点と１対１に対応していることを理解するとともに、簡単な無理数の計算ができる。	提出ノート 定期考査	小テスト 定期考査	提出ノート

※令和４年度以降入学生用

		第３節　一次不等式 １　不等式とその性質 ２　一次不等式の解法 ３　不等式の応用	a：一次不等式の解を求めることができる。 b：不等式の理解を深め，式を多面的に捉えて問題を考察することができる。 c：日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用しようとしている。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査	提出ノート 振り返りシート
	第2章　集合と論証	第１節　集合と命題 １　集合 ２　命題と論証	a：集合と命題に関する基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査	提出ノート
	第3章　２次関数	第１節　２次関数とグラフ １　関数 ２　２次関数とそのグラフ ３　２次関数の最大・最小 ４　２次関数の決定	a：２次関数の値の変化やグラフの特徴について理解しており、平行移動を利用して２次関数のグラフを描くことができる。 b：２次関数の式とグラフについて、コンピュータなどの情報機器を用いて描くなどして、多面的に考察することができる。 c：２次関数とそのグラフの性質や特徴について関心をもち、それらを２次関数の考察に活用しようとしている。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査	観察 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

2学期		第２節　２次方程式と２次不等式 １　２次方程式の解法 ２　２次方程式の実数解の個数 ３　２次関数のグラフとx軸の共有点 ４　２次不等式 ５　２次不等式の応用	a：２次関数のグラフと関数の値の変化における基本的な概念を理解し、最大値や最小値、２次方程式・２次不等式の解を求めることができる。 b：日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり考察することができる。 c：２次関数とそのグラフを用いることの有用性を認識し、値の変化や２次方程式・２次不等式の考察に活用しようとしている。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査	観察 提出ノート
	第４章　図形と計量	第１節三角比 １　直角三角形と三角比 ２　三角比の相互関係 ３　鈍角の三角比	a：鋭角の三角比の意味と相互関係を理解し、他の三角比の値や鈍角の三角比の値を求めることができる。 b：図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、三角比の性質や相互関係を考察することができる。 c：三角比を用いて直接測ることのできない長さや角度が求められることに関心をもち、事象の考察に活用しようとしている。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査	観察 提出ノート
		第２節図形の計量 １　正弦定理と余弦定理 ２　三角形の面積 ３　空間図形の計量	a：正弦定理、余弦定理を理解し、それを用いて平面図形や空間図形の計量をすることができる。 b：図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、考察することができる。 c：　正弦定理や余弦定理の有用性を認識し、平面図形や空間図形の計量に活用しようとしている。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査	観察 提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	第５章　データの分析	１　データの分布とグラフ ２　分散と標準偏差 １　散布図と相関係数	a：データの分析における基本的な概念、原理・法則などを理解し、分散及び標準偏差などの知識を身に付けている。また、散布図を描く、相関係数を求めるなどの技能を身に付けている。 b：散布図や相関係数などを用いてデータの傾向を捉え、それらを的確に表現することができる。 c：分散及び標準偏差などを用いてデータの傾向を把握し、事象の考察に活用しようとしている。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度